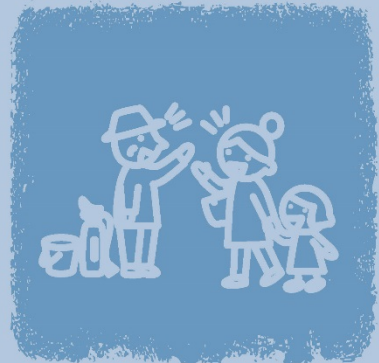
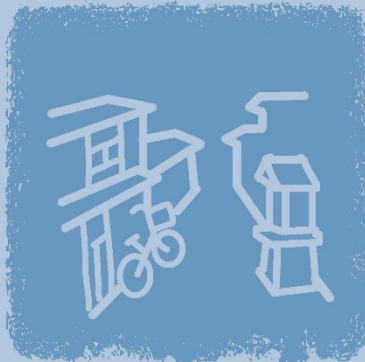


町内会長・防災部長 **保存版**
(毎年、次期役員に引き継ぎください)

京都市中京区 朱雀第一学区

防災まちづくり計画



朱一学区 防災まちづくり協議会

【目 次】

1. 「防災まちづくり計画」とは	・・・ 1
(1) 計画の背景と目的	
(2) 計画の役割	
(3) 計画の構成	
(4) 計画策定までのこれまでの取組	
(5) これまでに取り組んできた「すぐにできる対策」	
2. 朱一学区の概要	・・・ 8
(1) 市街地の成り立ち	
(2) 現状と課題	
(3) 道の位置付けとエリアの設定	
3. 「防災まちづくり」の目標	・・・ 17
(1) 目指すまちの将来像	
(2) 「防災まちづくり」の基本方針	
(3) 「路地や建物が密集しているエリア」について	
4. 計画の実現に向けて	・・・ 39
(1) 基本的な進め方	
(2) 学区全体で取り組む「防災まちづくり」の取組	
(3) 路地や町単位の「防災まちづくり」の取組の進め方	
(4) 個人、町内会、協議会の役割と具体的な取組	
参考資料	・・・ 45
(1) 知っておきたい道の仕組み	
(2) 具体的な対策	
(3) 防災まちづくりに関するアンケート調査結果	
(4) 「防災まちづくり」に関する住民アンケート調査結果	
(路地や建物が密集しているエリアの全戸を対象)	

1. 「防災まちづくり計画」とは

(1) 計画の背景と目的

朱一学区は、千本通や後院通、四条通などの京都市全体の広域的な幹線道路が通過し、JRや地下鉄の駅が立地するなど交通利便性に恵まれています。また、姉小路通や坊城通などによって形成された市街地の中に古くからの町家や路地が残るなど、風情ある京都らしい町並みを有しています。

その一方で、幅員4m未満の路地や古い木造の建物が多く、地震などの災害時には建物倒壊や火災の発生・燃え広がりなど、大きな被害が予想されます。

こうしたことから、朱一学区では、災害につよい安心・安全に住み続けられるまちを目指し、平成26年度から「防災まちづくり」に取り組み、袋路の2方向避難の確保や老朽化した危険な空き家の除却などの「すぐにできる対策」を進めるとともに、住民のみなさんと「防災まちあるき」や「防災まちづくり」に関する話し合いを重ねてきました。

「防災まちづくり計画」は、災害の被害から人命や財産を守り、将来にわたって安心・安全に住み続けることができるよう、学区全体で継続して「防災まちづくり」に取り組んでいくための考え方や具体的な取組等を取りまとめたものです。

(2) 計画の役割

「朱一学区防災まちづくり計画」が有する役割は、以下のとおりです。

① 実現すべき目指すまちの将来像を明らかにする役割

今後の「防災まちづくり」の取組に向けて、誰にとっても分かりやすい表現で、実現すべき目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針、具体的な「防災まちづくり」対策等を明らかにします。

② 具体的な「防災まちづくり」対策を進める指針とする役割

地域で把握・共有した防災上の課題解決に向けて、地域の特性を踏まえた具体的な「防災まちづくり」対策を進めていく際の指針とします。

③ 住民や事業者の理解、合意形成を図る役割

目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針を、住民、事業者、行政が共通の目標として共有することにより、「防災まちづくり」に対する理解を深め、「防災まちづくり」の取組全般に対する合意形成や相互の調整を容易にします。

(3) 計画の構成

「朱一学区防災まちづくり計画」は、主として、目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針、防災まちづくり計画図、「路地や建物が密集しているエリア」について取りまとめた『「防災まちづくり」の目標』や、「防災まちづくり」の取組や進め方等を示した『計画の実現に向けて』で構成します。

(4) 計画策定までのこれまでの取組

年 月 日	会議名等 (黄色：協議会 ピンク色：住民のみなさんに参加頂いた取組)
平成26年7月18日 (金)	自主防災会会議 (「防災まちづくり」の進め方等)
平成26年7月	「朱一学区防災まちづくり協議会」の設立
平成26年7月	「防災まちづくり」に関する町内会アンケート調査
平成26年9月20日 (土)	「防災まちあるき」 (1グループ)
平成26年9月21日 (日)	「防災まちあるき」 (2グループ)
平成26年9月27日 (土)	「防災まちあるき」 (3グループ)
平成26年9月28日 (日)	「防災まちあるき」 (4グループ)
平成26年10月	「防災まちづくり協議会news」第1号発行
平成26年11月9日 (日)	総合防災訓練 (「防災まちづくり」の取組PR)
平成26年11月18日 (火)	第1回防災まちづくり協議会
平成27年1月16日 (金)	第2回防災まちづくり協議会
平成27年1月	「防災まちづくり」に関する町内会アンケート調査
平成27年2月19日 (木)	「すぐにできる対策」の進め方検討会議

平成
26
年度

▶ 「防災まちあるき」

- ・「防災まちづくり」活動の第一弾として、4日間に分けて、路地の状況や地域の防災上の課題などを確認する「防災まちあるき」を開催しました。
- ・町内会長や防災部長、朱一小学校6年生などの参加のもと、普段とは違った視点で学区内を楽しく見て歩きました。
- ・「防災まちあるき」で地域の状況を確認した後、参加者全員でまちあるきの振り返りを行い、今後の取組について意見交換をしました。



振り返りの意見交換でのご意見 (抜粋)

- ・すべての路地で対策が必要
- ・家を建てる時に事前に相談して、できるだけ2方向避難を確保してもらってはどうか
- ・狭い路地に自転車や植木鉢等が置いてあると避難しにくい
- ・落ちそうな瓦や室外機があって危険
- ・古い塀が倒れてこないか心配
- ・町並みが良かった
- ・空き家が多かった。管理する人がいないと不安
- ・空き家になるかもしれない家や高齢者の見守り確認も一緒に進めてはどうか
- ・防災用の回覧板を利用するなどして、防災まちづくりに取り組んでいることを情報発信しよう!
- ・町内の絆づくり、隣近所への声掛けが大切
- ・できることから取り組んでいくことが大切 など

年月日	会議名等 (黄色：協議会 ピンク色：住民のみなさんに参加頂いた取組)
平成27年4月20日 (月)	第3回防災まちづくり協議会
平成27年4月	「防災まちづくり協議会news」第2号発行
平成27年5月10日 (日)	「防災まちづくり意見交換会」 (1グループ)
平成27年5月31日 (日)	「防災まちづくり意見交換会」 (2グループ)
平成27年6月13日 (土)	「防災まちづくり意見交換会」 (3グループ)
平成27年6月21日 (日)	「防災まちづくり意見交換会」 (4グループ)
平成27年8月4日 (火)	第4回防災まちづくり協議会
平成27年8月	「防災まちづくり協議会news」第3号発行
平成27年9月8日 (火)	平成27年度「防災リーダー研修」
平成27年10月27日 (火)	第5回防災まちづくり協議会
平成27年11月	「防災まちづくり協議会news」第4号発行
平成27年11月～12月	朱雀第一小学校「防災まちづくり」学習 (計8回) (※P. 4参照)
平成27年12月6日 (日)	平成27年度「防災・耐震セミナー」
平成28年1月19日 (火)	第6回防災まちづくり協議会
平成28年1月	「防災まちづくり協議会news」第5号発行
平成28年3月	「防災まちづくり協議会news」第6号発行
平成28年3月23日 (水)～	「防災まちづくりマップ」全戸配布 (※P. 5参照)

平成
27
年度

▶ 「防災まちづくり意見交換会」

- ・平成27年5～6月の4日間にわたり、総合防災訓練に続いて「防災まちづくり」に関する意見交換会を開催しました。
- ・多くの住民のみなさんの参加のもとで、身近な町内の現状・課題を見つめ直し、災害に強い安全・安心なまちをつくるための取組などについて意見交換を行いました。

『防災まちづくり』に関する意見交換会でのご意見・アイデア等 (抜粋)

- ・みんなの意見を聞きながら進めていくべき。
- ・袋路どうしをつなぐ緊急避難扉の設置に向け、関係者間で話を進めている。
- ・路地の中で火災が発生したことを考えると、2方向避難経路を確保した方が良い。
- ・古い家、長屋が多い。耐震のPRができると良い。
- ・空き家が増加している。所有者が分からない空き家もある。
- ・表札がない家も増えており、誰が住んでいるか分からない家もある。
- ・「地域の集合場所」を覚えていない人もいる。町内全体で話ができている。
- ・町内で毎日、「火の用心」をしている。



▶ 朱雀第一小学校「防災まちづくり」学習

・「防災まちづくり」活動の一環として、朱一小学校では、総合的な学習の時間で「防災」について学習しました。災害につよいまちをつくるために必要な取組などを学び、まちあるきで発見したこと、大切だと感じたことなどを壁新聞にまとめました。



1. 『防災まちづくり』について学ぼう

(地域の取組、密集市街地対策、地震につよい家づくり等)

■ 11月10日(火)～11月12日(木)

・自主防災会や地域の見守り隊、消防団など地域の取組の学習

■ 11月19日(木)【10:50～11:35 (45分)】

・地域の「良いところ」を大切にしつつ、「危険なところ」を改善する『防災まちづくり』(密集市街地・細街路対策)の学習

■ 11月24日(火)【14:45～15:30 (45分)】

・耐震模型(ぶるるくん)等を使った地震に強い家づくりの学習



2. 『防災まちあるき』

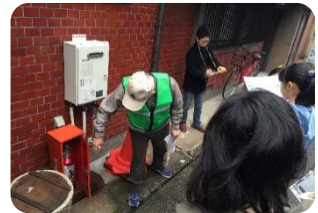
(残したい『良いところ』、直したい『危険なところ』の確認)

■ 12月1日(火)【10:50～12:25 (90分)】

・グループごとに、前回までに学習した『防災まちづくり』などの話を踏まえて、まちあるきで確認するポイント、役割分担など『防災まちあるき』の計画を検討

■ 12月3日(木)【8:55～12:25 (180分)】

・7グループに別れて、『防災まちあるき』を実施。大切にしたい地域の「良いところ」、直したほうがよい「危険なところ」の確認



3. 『防災まちあるき』の振り返り

(災害につよいまちをつくるために必要な取り組み)

■ 12月10日(木)【10:50～12:25 (90分)】

・写真等を確認しながら『防災まちあるき』で自分たちが気づいた点を整理
・自助・共助・公助の視点から、災害に強いまちをつくるために必要な取組を検討



4. 地域のみなさんに伝えたいことのまとめ(地域への情報発信)

■ 12月18日(金)【10:50～11:35 (45分)】

・災害につよいまちをつくるために必要な取組、朱一のまちの将来像、地域の人に伝えたいことを考え、【防災まちづくりノート】を完成

■ 12月22日(火)【10:50～12:25 (90分)】

・自分たちが学んだことを壁新聞(ニュース)として取りまとめ
・地域の人に伝えたい想いやメッセージを分かりやすく整理



「みんなで作った『防災まちづくりブック』」の配布

(平成27年度 朱雀第一小学校6年生への卒業記念)



▶ 「防災まちづくりマップ」全戸配布

・「防災まちづくり」活動の一環として、地域住民のみなさんと朱一小学校の子どもたちと一緒に取り組んだ「防災まちあるき」、「防災まちづくり」に関する意見交換などをもとに「防災まちづくりマップ」を作成し、全戸配布しました。

災害が起こる前にできることから取り組みましょう！

みち いろ いえ ちまち

- 自宅から町内会の集合場所、避難所への避難経路の事前確認
- 行き止まりの高地（築山）は積雪の方向に逃げられるように避難経路の設置をしましょう！
- 災害時に逃げやすいように自転車やバイク、侵入警など整理
- 自宅の新築性の確認
- 自宅を早々に、燃えにくく、ましよう！
- 京都府の地震対策を参考に、家と通りに管理・修繕
- 空き家を適切に管理・修繕することにより、活用することも考えましょう！
- 自備から、ご近所での防災に関する活動をしましょう！
- 水災発生時の危険な場所を多く設置したり、避難所に危険な場所を多く設置したり、避難所を確保しましょう！
- 避難所が確保されているところは、一時避難所や臨時避難所として活用し、避難所を確保しましょう！

京都市中京区 朱雀第一学区 防災まちづくりマップ

この「防災まちづくりマップ」は、地域住民のみなさんと朱一小学校の子どもたちと一緒に取り組んだ「まちあるき」、「防災まちづくり」に関する意見交換などをもとに作成したものです。日頃から、身近な町内の情報や災害時の避難の流れなどを確認しておきましょう。

勸学院町北部、勸学院町南部、南聖町北部、南聖町南部、丸美ハイツ

大きな揺れを感じたら・・・

- 1 自分の身の安全を確保しましょう**
 火元（ストーブ・ガスレンジなど）の安全確認
 避難するときのために出口を確保
 ラジオなどで正確な災害情報を収集
 家族の安否を確認
 発生から30分を目安に！避難時はがれきりや倒壊した家屋、道路の亀裂に注意しましょう。
- 2 『町内会の集合場所』に集まりましょう**
 安否確認や被害状況を把握し、集まった人で援助活動を行います。
 わたしは _____ に行きます。
 発生から3時間を目標に！お年寄りや体の不自由な方が、子どもたちに寄り添って！
- 3 『朱一小学校』(避難所)に避難しましょう**
 各町の避難所数や被害状況を平日(土・日・祝日)に報告してください。学区全体の状況を把握し、今後の援助計画を検討します。

避難するときには・・・

- 非常持ち出し品のチェック
- 避難路（自宅～集合場所）の確認
- ガスの元栓、電気のブレーカーを閉める
- 家の戸締りや非常持ち出しリュックの持参
- 避難所（特に要援護者）の安否確認
- 歩きやすい運動靴で避難

『地域の集合場所』に集まりましょう
 ・代表者は被害状況を共有しましょう。
 ・集まった多数の町内が連携し、町内だけで援助できなかったところの救助活動を行います。
 『地域の集合場所』 姉坊城児童公園

朱一小学校の子どもたちから地域へのメッセージ

- ◆ 災害に備えてきれいなまちに！！
- ◆ 災害に備えて、準備しよう！知識をつけよう！
- ◆ 地震・火災に強いまちに
- ◆ 安心できるようにみんなで防災に取り組もう
- ◆ 守ろう！京都のまち
- ◆ みんなで守ろう！朱一のまち
- ◆ 防災についてまちづくり



朱一小学校では、総合的な学習の時間で「防災」について学習しました。災害に備えるまちをつくるために必要な知識とを学び、自分たちのまちで防災について学びましたこと、大切に感じたことなどを避難所まで伝えました。このマップは子どもたちからのメッセージや意見をとり入れ作成しています。



災害時の避難の流れを確認！

平成28年3月 発行：朱一学区防災まちづくり協議会

「町内会の集合場所」や「地域の集合場所」を確認！

子どもたちがまちあるきで気付いた『良いところ』(主な意見)

- ◆ 災害時に避難しやすい広い道がある。
- ◆ 道は狭いけど昔ながらの建物が並んでいて風情があった。
- ◆ 昔ながらの風情や、お地蔵さんがたくさんあった。
- ◆ 公園に防災倉庫や防火水栓があった。
- ◆ ご近所どうし仲が良かった。

子どもたちがまちあるきで気付いた『危険なところ』(主な意見)

- ◆ バイクや自転車が狭い道にあってあって通りがかった。ひびが入っているブロックがあった。グラグラしていた。
- ◆ 古い家は木造が多く、火事の際に燃え広がりがやむと思った。
- ◆ ところどころが狭かった。
- ◆ 階段が斜めになったままだった。

凡例

『みち』の情報

- 幅員4.0m以上の道路
- 幅員1.8m以上4.0m未満の道
- 幅員1.8m未満の道
- 道路(歩道含む)の幅員
- 道路(歩道含む)の幅員
- 道路(歩道含む)の幅員
- トンネル種地

『町内会の集合場所』や『地域の集合場所』の情報

- 町内会の集合場所
- 地域の集合場所
- 避難所(朱一小学校)
- 避難所への避難ルート(基本) (支路は必要に応じて追加)

緊急時に役立つ情報

- 消火栓 (自動車やトラックの取付は不可)
- 防火水栓
- 防火倉庫
- 災害時協力戸

公園や公共施設等の情報

- 公園・公共空間
- 神社・お寺
- 公共施設
- エリア界
- 町丁目界

年 月 日		会議名等 (黄色：協議会 ピンク色：住民のみなさんに参加頂いた取組)
平成 28 年度	平成28年4月11日 (月)	第7回防災まちづくり協議会
	平成28年5月27日 (金)	朱一学区防災まちづくり協議会が「防災まちづくり活動団体」として、京都市の認定を受ける
	平成28年6月12日 (日)	総合防災訓練 ・熊本地震についての報告 ・「みんなで「防災まちづくり」について考えよう アンケート調査」 (※参考資料(1)参照)
	平成28年6月28日 (火)	第8回防災まちづくり協議会
	平成28年7月20日 (水)	平成28年度「防災リーダー研修」
	平成28年7月30日 (土)～ 平成28年8月14日 (日)	「防災まちづくり」に関するアンケート調査 (※参考資料(2)参照) (路地や建物が密集しているエリアの全戸を対象)
	平成28年8月	「町内会の集合場所」ステッカーの配布
	平成28年9月	「防災まちづくり協議会news」第7号発行
	平成28年9月1日 (木)	第9回防災まちづくり協議会
	平成28年9月27日 (火)	平成28年度「防災まちづくり座談会」 (路地や建物が密集しているエリアの全戸を対象)
	平成28年11月30日 (水)	第10回防災まちづくり協議会
	平成29年1月16日 (月)	第11回防災まちづくり協議会
	平成29年2月6・13日 (月)	『防災まちづくり計画』策定に向けた意見交換会
	平成29年3月23日 (木)	第12回防災まちづくり協議会

▶ 『防災まちづくり計画』策定に向けた意見交換会

- ・平成29年2月6日・13日に、『防災まちづくり計画(案)』の確認の機会として、『防災まちづくり計画』策定に向けた意見交換会を開催しました。
- ・計画(案)を確認した後、『防災まちづくり計画』の目標(将来像や基本方針)、目指す将来像を実現するための町内会の役割と具体的な取組等について、意見交換を行いました。

『防災まちづくり』策定に向けた意見交換会でのご意見・アイデア等(抜粋)

- ・防災上重要な道の沿道の建物の耐震化・不燃化や、路地の適正管理については、町内会だけでなく、行政や専門家も一緒になって働き掛けを行うほうが良い。
- ・空き家所有者の連絡先まで把握することは難しいが、空き家の場所は把握できる。
- ・引継ぎノートを作って、防災リーダー研修等の資料も併せて、次の防災部長に引き継ぐ。
- ・総会や食事会等の機会に、住民のみなさんの「防災」に関する理解を深める。



(5) これまでに取り組んできた「すぐにできる対策」

朱一学区では、平成 26 年度の「防災まちあるき」や平成 27 年度の「防災まちづくり意見交換会」を踏まえ、各ご町内のみなさんと協議会が連携して「すぐにできる対策」を進めてきました。具体的に対策を進めるに当たっては、関係者の協力を頂き、京都市の助成制度を活用しながら、まちの安全を高める対策を実施しています。

これまでに取り組んできた「すぐにできる対策」は以下のとおりです。

①袋路（行き止まりの路地）に緊急避難扉を設置

災害時に、袋路の入り口が建物の倒壊によって塞がれ、避難や救助ができなくなるおそれがあるため、地域住民のみなさんとの協力のもと、馬場町中部、職司町北部、坊城町北部で袋路の奥から安全に避難できる緊急避難扉を設置しました。



②老朽空き家の除却

地震が起こった時に建物が倒壊したり、火災時に延焼が広がるおそれがあるため、所有者のご理解・ご協力を得て、馬場町東部や池ノ内町中甲西部、御所ノ内町南部で老朽化した空き家を除却しました。

③袋路の避難の安全性を高める取組（トンネル路地の除却）

トンネル路地は、京都らしい町並みを形成している一方、耐震性能が十分ではない場合は、災害時に安全な避難の妨げとなることがあります。袋路の避難安全性を高めるため、職司町北部の袋路のトンネル路地を除却する工事を行いました。

